

深在性真菌症治療剤

2021年10月

処方箋医薬品

日本薬局方 フルコナゾール注射液

**フルコナゾール 静注液 50mg「サワイ」**  
**フルコナゾール 静注液 100mg「サワイ」**  
**フルコナゾール 静注液 200mg「サワイ」**

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30  
TEL: 0120(381)999

使用上の注意改訂のお知らせ

この度、下記のとおり使用上の注意を自主改訂致しますので、お知らせ申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

●改訂内容 (下線部改訂又は追加箇所、取り消し線部削除箇所)

改訂後			改訂前		
<b>3. 相互作用</b> 本剤は、CYP2C9、2C19及び3A4を阻害する。 1)併用禁忌(併用しないこと)			<b>3. 相互作用</b> 本剤は、CYP2C9、2C19及び3A4を阻害する。 1)併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エルゴタミン (クリアミン 配合錠) ジヒドロエルゴ タミン	アゾール系抗真菌 剤等のCYP3A4を 阻害する薬剤とエル ゴタミンとの併 用により、エルゴ タミンの血中濃度 が上昇し、血管攣 縮等の副作用を起 こすおそれがある。	本剤はこれらの 薬剤の肝臓にお ける主たる代 謝酵素である CYP3A4を阻害 するので、併用 によりこれらの 薬剤の血中濃度 が上昇すること がある。	エルゴタミン (クリアミン 配合錠) ジヒドロエルゴ タミン (ジヒデルゴ ット等)	アゾール系抗真菌 剤等のCYP3A4を 阻害する薬剤とエル ゴタミンとの併 用により、エルゴ タミンの血中濃度 が上昇し、血管攣 縮等の副作用を起 こすおそれがある。	本剤はこれらの 薬剤の肝臓にお ける主たる代 謝酵素である CYP3A4を阻害 するので、併用 によりこれらの 薬剤の血中濃度 が上昇すること がある。
キニジン (キニジン 硫 酸塩) ピモジド (オーラップ)	これらの薬剤の血 中濃度が上昇する ことにより、QT 延長、torsades de pointesを発現す るおそれがある。		キニジン (硫酸キニジ ン) ピモジド (オーラップ)	これらの薬剤の血 中濃度が上昇する ことにより、QT 延長、torsades de pointesを発現す るおそれがある。	

(裏面につづく)



改訂後			改訂前		
2)併用注意(併用に注意すること)			2)併用注意(併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
リトナビル オキシコ ドン	これらの薬剤の AUC上昇の報告 がある。	本剤はこれらの薬剤 の肝臓における主た る代謝酵素である CYP3A4を阻害する ので、併用によりこ れらの薬剤の血中濃 度が上昇することが ある。	リトナビル サキナビル オキシコ ドン	これらの薬剤の AUC上昇の報告 がある。	本剤はこれらの薬剤 の肝臓における主た る代謝酵素である CYP3A4を阻害する ので、併用によりこ れらの薬剤の血中濃 度が上昇することが ある。
イブルチニ ブ	イブルチニブの副 作用が増強される おそれがある。 やむを得ず併用す る際は、イブルチ ニブの減量を考慮 するとともに、患 者の状態を慎重に 観察すること。	本剤はこれらの薬剤 の主たる代謝酵素で あるCYP3Aを阻害 するので、併用によ りこれらの薬剤の血 中濃度が上昇するこ とがある。	イブルチニ ブ	イブルチニブの副 作用が増強される おそれがある。 やむを得ず併用す る際は、イブルチ ニブの減量を考慮 するとともに、患 者の状態を慎重に 観察すること。	本剤はイブルチニブ の主たる代謝酵素で あるCYP3Aを阻害 するので、併用によ りイブルチニブの血 中濃度が上昇するこ とがある。
レンボレキ サント	レンボレキサント の血中濃度上昇の 報告があり、傾眠 等の副作用が増強 されるおそれがあ る。本剤とレンボ レキサントの併用 にあたっては、患 者の状態を慎重に 観察した上で、レ ンボレキサント投 与の可否を判断す ること。なお、併 用する際はレンボ レキサントを1日 1回2.5mgとする こと。		〈該当項目なし〉		
スルホニル 尿素系血糖 降下薬 クロルブ ロパミド グリベン クラミド 等	スルホニル尿素系 血糖降下薬の血中 濃度上昇の報告が ある。 また、併用により 低血糖の報告があ る。	本剤はこれらの薬剤 の肝臓における主た る代謝酵素であるチ トクロームP450を 阻害するので、併用 によりこれらの薬剤 の血中濃度が上昇す ることがある。	スルホニル 尿素系血糖 降下薬 クロルブ ロパミド グリベン クラミド トルブタ ミド 等	スルホニル尿素系 血糖降下薬の血中 濃度上昇の報告が ある。 また、併用により 低血糖の報告があ る。	本剤はこれらの薬剤 の肝臓における主た る代謝酵素であるチ トクロームP450を 阻害するので、併用 によりこれらの薬剤 の血中濃度が上昇す ることがある。
三酸化二ヒ 素	QT延長、心室頻 拍(torsades de pointesを含む)を 起こすおそれがあ る。	本剤及び三酸化二 ヒ素は、いずれも QT延長、心室頻 拍(torsades de pointesを含む)を起 こすことがある。	三酸化ヒ素	QT延長、心室頻 拍(torsades de pointesを含む)を 起こすおそれがあ る。	本剤及び三酸化ヒ 素は、いずれも QT延長、心室頻 拍(torsades de pointesを含む)を起 こすことがある。

☆ 改訂後の添付文書につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp>)  
および弊社の医療関係者向け情報サイト(<https://med.sawai.co.jp>)に掲載致しますので、併せてご参照下さい。